

令和５年度要望活動

新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道１２号線延伸促進協議会」は、大江戸線の光が丘駅からＪＲ武蔵野線東所沢駅までの間の延伸について、令和５年７月１３日（木）に埼玉県、令和６年１月２６日（金）に東京都へ、それぞれ要望書を提出しました。

埼玉県の大野知事からは、「交通ネットワークに優れた本県ではあるが、交通利便性を更に促進させることは重要であると考えている。１２号線の延伸については、事業性の確保や新駅周辺のまちづくりの推進、延伸ルートの精査などが課題となっており、県では課題解決につながる調査研究を進めているところである。県内の関係市である新座市及び所沢市とは県主催の連絡会議で調査の結果を共有するとともに、市の担当職員を対象とした研修会を開催する等、密に連携した取組を引き続き行っていきたいと考えている。今後もより一層緊密に連携をしながら、着実な延伸に向けて努めてまいりたい。」とのコメントを頂きました。

また、東京都への要望では、谷崎都市整備局長から、「光が丘駅から大泉学園町までの延伸に向けては、導入空間となる都市計画道路補助２３０号線の整備を推進していくとともに、将来的な旅客需要の見通しと事業の収支採算性の確保について検討を進めており、引き続き練馬区と連携し、事業化について検討していく。大泉学園町から東所沢駅までの延伸については、輸送需要を確保するためにも、まちづくりの取組が大切である。沿線市区においては、まちづくりに御尽力いただきたい。都としても進めるべきことをしっかりやっていく。」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄１２号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動してまいります。

埼玉県への要望の様子



東京都への要望の様子

